

LA-CM-02K08A (Linea Mono)

接続可能な画像処理装置・画像入力ボード

FVC07CLB / FVC07CLMF

サポートする機能

取り込みモード名称 (ファースト呼称)	対応カメラ機能名称	備 考
ノーマル (通常) 入力	Internal SYNC	露光時間はカメラコントロールソフトウェアを使用するか、コマンド通信にて設定
トリガ入力	External SYNC	露光期間はソフトウェア設定 (パルス幅)

留意事項

- カメラのモード設定はカメラリンク I/F を通して行われます。
- 指定のない設定項目については工場出荷設定で使用可能です。
- カメラメーカーの提供するカメラコントロールソフトウェアを使用するか、弊社ライブラリ製品に用意された通信用 API 等を使用して設定を行う必要があります。
- 本説明書とカメラメーカーが提供するマニュアルを参考に設定を行って下さい。
- 通信用 API の詳細についてはライブラリ製品の説明書・ヘルプ等を参照して下さい。
- 本カメラは、設定をコマンド通信にて行う場合、最初に一度 ASCII 文字コードの「ESC」を送信する必要があります。

詳細な設定方法およびカメラ仕様につきましては、Teledyne DALSA 社様より提供される取扱説明書「Linea Camera User's Manual 2k and 4k Monochrome CMOS Line Scan」を参照してください。

以下、通信コマンドを示します。

(1)FVC07CLB(Base Configuration)の場合

各モード共通の設定

コマンド	設定項目	説明
CLM	カメラリンクモード設定	「0:Base」に設定

取り込みモードに依存する設定

・ノーマル入力の場合

コマンド	設定項目	説明
SEM	露光モード設定	「0:Internal(“Timed”)」に設定
STM	トリガモード設定	「0:Internal」に設定
SET	露光時間設定	任意に設定「4000~3000000(ns)、デフォルト:50000」
SSF	ラインレート設定	任意に設定「1~80000(Hz)、デフォルト:10000」

・トリガ入力の場合

コマンド	設定項目	説明
STM	トリガモード設定	「1:External」に設定
SEM	露光モード設定	「1:External(“PulseWidth”)」に設定

(2)FVC07CLMF 4TAP(Medium Configuration)の場合

各モード共通の設定

コマンド	設定項目	説明
CLM	カメラリンクモード設定	「1:Medium」に設定

取り込みモードに依存する設定

・ノーマル入力の場合

コマンド	設定項目	説明
SEM	露光モード設定	「0:Internal(“Timed”)」に設定
STM	トリガモード設定	「0:Internal」に設定
SET	露光時間設定	任意に設定「4000~3000000(ns)、デフォルト:50000」
SSF	ラインレート設定	任意に設定「1~80000(Hz)、デフォルト:10000」

・トリガ入力の場合

コマンド	設定項目	説明
STM	トリガモード設定	「1:External」に設定
SEM	露光モード設定	「1:External(“PulseWidth”)」に設定

(3)FVC07CLMF 8TAP(Full Configuration)の場合

各モード共通の設定

コマンド	設定項目	説明
CLM	カメラリンクモード設定	「2:Full」に設定

取り込みモードに依存する設定

・ノーマル入力の場合

コマンド	設定項目	説明
SEM	露光モード設定	「0:Internal(“Timed”)」に設定
STM	トリガモード設定	「0:Internal」に設定
SET	露光時間設定	任意に設定「4000~3000000(ns)、デフォルト:50000」
SSF	ラインレート設定	任意に設定「1~80000(Hz)、デフォルト:10000」

・ トリガ入力の場合

コマンド	設定項目	説明
STM	トリガモード設定	「1:External」に設定
SEM	露光モード設定	「1:External(“PulseWidth”）」に設定